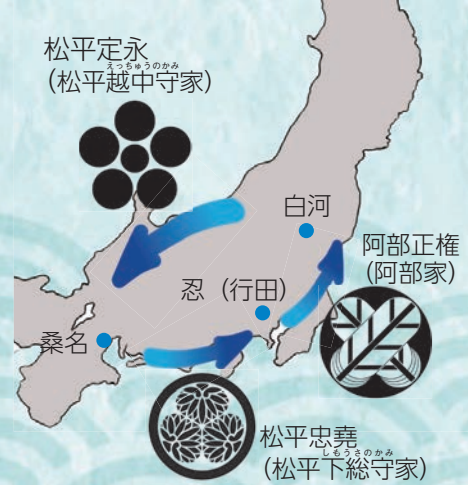


3つの大名家は、いずれも徳川将軍家の一門や譜代の大名であり、江戸時代の初期から幕府を支えた名門でした。

本展覧会では、3家に伝来する徳川将軍家との関係を示す書状や、三方領知替に関わる古文書、ゆかりの美術工芸品、江戸時代の各町の繁栄がうかがえる資料などを展示し、3市で育まれた豊かな歴史文化を紹介します。



3大名家の歴史と文化



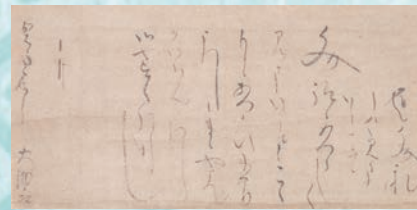
▲松平定信筆朱達磨図 (桑名市博物館)



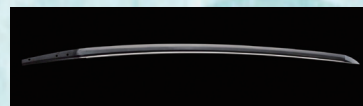
▲関ヶ原谷戦図屏風 (左隻) (行田市指定文化財、行田市郷土博物館)



▲古萬古 オランダ写手焙 (桑名市指定文化財、桑名市博物館)



▲徳川家康自筆書状 (忍東照宮所有・行田市郷土博物館保管)



▲刀 無銘 (名物横須賀江) (国重要美術品、小峰城歴史館)

紺裾濃糸威二枚胴具足 (小峰城歴史館)



「小峰城一石城主」募集中!!



市では、小峰城が奥州の名城としての行まいを整え、より多くの方々に歴史・文化を堪能してもらうため、皆さんと一緒に城内最大規模の清水門の復元に取り組んでいます。

1,000円ごとに「一石」とし、白河藩最大の石高15万石を目指して寄附を募るプロジェクトです。ご支援ご協力をお願いします。

- 令和5年7月10日現在石高 7万1187石
- 申し込み・問い合わせ先
文化財課 ☎@2310 FAX@2256
メール
kominejyou@city.shirakawa.fukushima.jp
〒961-0053
白河市中田7-1 (歴史民俗資料館内)





忍城（埼玉県行田市）

桑名城（三重県桑名市）

小峰城（福島県白河市）



さんぼうりょうちがえ

三方領知替200年

ぎょうだ

くわな

行田市・桑名市・白河市友好都市締結

25周年記念合同企画展

レガシー

武門の遺産

おし

—徳川家を支えた忍・桑名・白河—

文政6年（1823）忍藩主阿部正権が白河へ、白河藩主松平定永が桑名へ、桑名藩主松平忠義が忍（行田）へ国替えとなる「三方領知替」が行われ、この史実をきっかけに3市は平成10年に友好都市を締結しました。

本年は「三方領知替」から200年、友好都市締結25周年の節目となります。そこで記念の合同企画展を開催し、貴重な縁の品々を展示します。

会期中には、展示解説会を開催し、3市の学芸員がそれぞれの展示の見どころを紹介します。どうぞご来場ください。

- 会期 8月11日(祝)～9月10日(日)
- 時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 会場 小峰城歴史館（郭内1-73 城山公園内）
- 休館日 毎週月曜日（8月14日(月)は開館）
- 入館料 ▷一般 300円（団体250円）
▷小中高生・障がい者 100円（団体50円）

《展示解説会》

- 期日／担当者
▷8月11日(祝)／行田市・桑名市・白河市学芸員
▷8月27日(日)／行田市・白河市学芸員
▷9月2日(土)／桑名市・白河市学芸員
- 時間 各日とも午前11時・午後2時からの2回
(各50分程度)

※参加費無料（入館券が必要です）